

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2002007621 A**

(43) Date of publication of application: **11.01.02**

(51) Int. Cl

**G06F 17/60
H04N 7/173**

(21) Application number: **2000189742**

(71) Applicant: **MOROHASHI MAKOTO**

(22) Date of filing: **20.06.00**

(72) Inventor: **MOROHASHI MAKOTO**

(54) EVENT MEDIATING SYSTEM

案内 (ステップ 1)

(57) Abstract:



PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an event mediating system, with which a large number of distant and close persons can easily take part in an event and further can enjoy an environment similar to taking part in an event site.

受付 (ステップ 2)

SOLUTION: This system is composed of a first process for guiding an event to be opened on the Internet, second process for accepting event participants, third process for enabling the registration of event participant, fourth process for enabling the event participant to remit participation charges, fifth process for enabling the participant to watch the video of the event on an electronic terminal connectable to the Internet, and sixth process for enabling the event participant to communicate with audio, video and writing.



記帳 (ステップ 3)

COPYRIGHT: (C)2002,JPO



送金 (ステップ 4)



映像 (ステップ 5)



交信 (ステップ 6)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-7621

(P2002-7621A)

(43)公開日 平成14年1月11日(2002.1.11)

(51)Int.Cl.⁷
G 0 6 F 17/60

識別記号
1 4 6
Z E C
2 3 4
3 1 4
4 0 2

F I
G 0 6 F 17/60

1 4 6 A 5 B 0 4 9
Z E C 5 B 0 5 5
2 3 4 S 5 C 0 6 4
3 1 4
4 0 2

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号

特願2000-189742(P2000-189742)

(71)出願人 592241423

諸橋 真琴

東京都江東区亀戸 6-33-3

(22)出願日

平成12年6月20日(2000.6.20)

(72)発明者 诸橋 真琴

東京都江東区亀戸 6-33-3

(74)代理人 100091764

弁理士 畠谷 剛至

Fターム(参考) 5B049 BB46 BB70 CC02 CC05 CC36

CC39 DD01 EE01 EE07 FF03

FF04 GG04 GG07

5B055 BB20 CB09 EE02 EE21 EE27

FA01 FB03 KK01 PA02 PA22

PA34 PA37

5C064 BA07 BB01 BC01 BD02 BD08

(54)【発明の名称】 イベント仲介システム

(57)【要約】

【目的】 イベントに遠近問わず大勢の人が簡単に参加でき、しかも、イベント会場に参加していると同様な雰囲気が味わえるイベント仲介システムを提供するものである。

【構成】 インターネット上に開設するイベントを案内する第1の工程、イベント参加者を受け付ける第2の工程、イベント参加者が記帳できる第3の工程、イベント参加者が参加費を送金することができる第4の工程、インターネットに接続可能な電子端末で参加者がイベントを映像で見ることができる第5の工程、イベント参加者が音声、映像、書き込みで交信できる第6の工程からなることを特徴とする。

案内(ステップ1)



受付(ステップ2)



記帳(ステップ3)



送金(ステップ4)



映像(ステップ5)



交信(ステップ6)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット上に開設するイベントを案内する第1の工程、イベント参加者を受け付ける第2の工程、イベント参加者が記帳できる第3の工程、イベント参加者が参加費を送金することができる第4の工程、インターネットに接続可能な電子端末で参加者がイベントを映像で見ることができる第5の工程、イベント参加者が音声、映像、書き込みで交信できる第6の工程からなることを特徴とするイベント仲介システム。

【請求項2】 前記第1の工程から前記第6の工程にかかる手順を示すプログラムが記載されていることを特徴とするイベント仲介システムの記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はイベント仲介システム、詳しくは、イベント、例えば、結婚式、通夜、告別式、企業イベント等をインターネット上に実況中継し、参加者が電子端末で自由に参加して参加費をインターネット上で支払い、参加者が音声、映像、書き込みで交信することができるイベント仲介システムに関する。

【0002】

【従来の技術】結婚式、通夜、告別式、企業パーティ等のイベントでは、参加者はその会場に出席するか、若しくは遠隔地の参加者の為、映像を中継しての場合には、自己のパーソナルコンピュータで映像を見て参加するか、若しくは、映像を放映している中継地まで行き、そこに参加するかである。会場に参加する場合には、参加者は時間と費用をかけ出席し、一方、遠隔地の参加者の為、映像を中継しての場合には、前述と同様に、参加者は時間と費用をかけて中継地まで出向いて参加するか、自己のパーソナルコンピュータで映像を見て参加するかであるが、かかる場合は一方向での参加で双方方向での参加はできなかった。かかる場合に、参加者は手間、隙がかかり、イベント主催者も映像中継するには費用がかかり、主催者側も大勢の参加者の参加が望めず、又、参加者側も気軽に参加できない。大勢の参加者が参加でき、参加者も気軽に参加できるシステムがあれば、御互いに好ましい。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、かかる点に鑑みなされたものであり、イベントに遠近問わず大勢の人が簡単に参加でき、しかも、双方でイベント会場に参加していると同様な雰囲気が味わえるイベント仲介システムを提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】その為、本発明にかかるイベント仲介システムは、インターネット上に開設するイベントを案内する第1の工程、イベント参加者を受け付ける第2の工程、イベント参加者が記帳できる第3の工程、イベント参加者が参加費を送金することができる

第4の工程、インターネットに接続可能な電子端末で参加者がイベントを映像で見ることができる第5の工程、イベント参加者が音声、映像、書き込みで交信できる第6の工程からなることを特徴とする。

【0005】イベント参加者は居ながらにして、電子端末でイベントに参加でき、しかも、インターネットに接続可能な電子端末さえあれば、何処からでもイベントに参加できるので、参加者は気軽にイベントに出ることができます。その際、参加者は参加費を電子端末で送金できる。又、参加者はイベントに音声、映像、書き込みで参加できる。

【0006】

【発明の実施態様】本発明につき、図1乃至図2に基づき説明する。本発明にかかるイベント仲介システムは、インターネット上に開設するイベントを案内する工程(ステップ1)、イベント参加者を受け付ける工程(ステップ2)、イベント参加者が記帳できる工程(ステップ3)、イベント参加者が参加費を送金することができる工程(ステップ4)、インターネットに接続可能な電子端末で参加者がイベントを映像で見ることができる工程(ステップ5)、イベント参加者が音声、映像、書き込みで交信できる工程(ステップ6)からなる。

【0007】最初に、インターネット上に開設するイベントを案内する工程(ステップ1)から説明する。参加者は予め、イベント主催者から連絡されたアドレスにインターネットに接続可能な電子端末で接続する。電子端末は、例えば、パーソナルコンピューターで、インターネットに接続可能な電子端末であればよい。イベントは、本実施例では、結婚式を例にとり説明するが、葬式、同窓会、パーティー等であってもよい。イベントを案内する工程(ステップ1)は、参加者がイベント主催者から連絡されたアドレスに電子端末で接続すると、画面に〇〇家結婚式会場と表示される。この画面には次の工程に行く為の表示、例えば「次へ」と表示されている。参加者は「次へ」をクリックすると、イベント参加者を受け付ける工程(ステップ2)に進むことができる。

【0008】イベント参加者を受け付ける工程(ステップ2)は、画面に「受付」と表示されており、「本日は御忙しい中、ご列席有難う御座います。御名前をどうぞ。」と表示されている。この画面にも次の工程に行く為の表示、「次へ」と表示されているので、参加者は「次へ」をクリックすると、イベント参加者が記帳できる工程(ステップ3)に進むことができる。

【0009】このイベント参加者が記帳できる工程(ステップ3)は、参加者が住所、氏名、mai1アドレス等を記載できる記載欄が予め作成されており、参加者が各欄に記載できる。この画面には、「祝儀受付」、「結婚式場」、「交信」、「受付へ戻る」等の表示があり、参加者は希望の表示をクリックすると、各工程に進むこ

とができる。

【0010】参加者が「祝儀受付」をクリックすると、イベント参加者が参加費を送金することができる工程(ステップ4)に進むことができる。かかる工程は、参加者が祝儀金を支払うことができる工程であり、かかる画面には「祝儀金」、「贈呈品」と表示されている。参加者が「祝儀金」をクリックすると、「金額」、「クレジット番号」、「銀行口座番号」、「暗証番号」等を記載できる記載欄が表示されているので、それぞれ記載することにより、その金額が電子決済システムにより主催者に送金される。例えば、金額を「1000円」とすれば、「1000円」が送金される。又、海外からの参加者は、例えばアメリカからの参加者は金額を「100ドル」とすれば、「100ドル」が結婚式をおこなっている国の金額に換算されて電子決済システムにより銀行振込で主催者に送金される。

【0011】一方、参加者が「贈呈品」をクリックすると、品物とその金額が表示される。その為、参加者は送りたい品物を選び、参加者の「氏名」、「クレジット番号」「銀行口座番号」、「暗証番号」等を記載すれば、主催者に品物は送られ、その代金は電子決済システムにより参加者から支払われる。なお、「贈呈品」を送る場合には、参加者は贈呈品の一覧表を見ることができ、参加者がどのような品物を選択したかがわかり、既に選択したもの以外を選択できるようになっている。

【0012】次に、参加者が「結婚式場」をクリックする場合につき説明する。参加者が「結婚式場」をクリックすると、インターネットに接続可能な電子端末で参加者がイベントを映像で見ることができる工程(ステップ5)に進むことができる。この工程は、会場で映像機器により結婚式が撮影されており、この映像がインターネットを介して放映されている。その為、参加者は電子端末により、結婚式を映像として見る事ができる。

【0013】次に、参加者が「交信」をクリックする場合につき説明する。参加者が「交信」をクリックすると、イベント参加者が音声、映像、書き込みで交信できる工程(ステップ6)に進むことができる。この工程は、参加者の電子端末の映像機器と音声機器とで結婚式に出席している出席者が音声、映像で互いに交信でき、更に、互いに書き込みで交信できる。かかる工程では、主催者と参加者が1対複数の参加者とで互いに双方向で交信できる。更に、この工程では、結婚式に出席している出席者と電子端末での参加者の一覧リストを見る事が

でき、出席者と参加者が1対1でも音声、映像で交信することができる様にしてもよい。かかる場合には、結婚式に出席している出席者にも電子端末が付与されており、その為、出席者と参加者が1対1で双方向で交信できる。

【0014】上記実施例では結婚式の場合につき説明したが、葬式、同窓会、企業のパーティーであってもよく、案内の表示はそれに応じて変わることは明らかである。葬式では〇〇家葬儀、同窓会は〇〇学校同窓会、企業のパーティーでは〇〇会社創立100年記念パーティーと記載できる。

【0015】

【発明の効果】本発明にかかるイベント仲介システムでは、インターネット上に開設するイベントを案内する第1の工程、イベント参加者を受け付ける第2の工程、イベント参加者が記帳できる第3の工程、イベント参加者が参加費を送金することができる第4の工程、インターネットに接続可能な電子端末で参加者がイベントを映像で見ることができる第5の工程、イベント参加者が音声、映像、書き込みで交信できる第6の工程からなるので、イベント参加者は居ながらにして、電子端末でイベントに参加でき、しかも、インターネットに接続可能な電子端末さえあれば、何処からでも双方でイベントに参加できるので、参加者は気軽にイベントに出ることができます。その際、参加者は参加費を電子端末で送金できる。又、参加者はイベントに音声、映像、書き込みで参加できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかるイベント仲介システムの概略図である。

【図2】本発明にかかるイベント仲介システムのフローチャートである。

【符号の説明】

ステップ1はインターネット上に開設するイベントを案内する工程

ステップ2はイベント参加者を受け付ける工程

ステップ3はイベント参加者が記帳できる工程

ステップ4はイベント参加者が参加費を送金することができる工程

ステップ5はインターネットに接続可能な電子端末で参加者がイベントを映像で見ることができる工程

ステップ6はイベント参加者が音声、映像、書き込みで交信できる工程

【図1】

案内（ステップ1）

↓

受付（ステップ2）

↓

記帳（ステップ3）

↓

送金（ステップ4）

↓

映像（ステップ5）

↓

交信（ステップ6）

【図2】

参加者

↓

○○家結婚式場

↓ (次へ)

受付

↓ (次へ)

記帳

✓ ↓ ↘

祝儀受付 結婚式場 交信

↓ ↓

祝儀金 贈呈品

フロントページの続き

(51)Int.C1.7

H04N 7/173

識別記号

640

F I

H04N 7/173

コード(参考)

640Z